

「2024年度バルセロナ大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学経済学部3年 Chang Yona Yu Qing

①学習成果

このプログラムを通じて、私はスペインおよびカタルーニャの文化と言語についての理解を深めることができたと感じています。文化に関しては、プログラムの前後に行われた歴史の授業が特に印象的で、カタルーニャの強いアイデンティティや独立への思いを理解する助けになりました。

また、市内の多様な人々の姿を目にしたり、多くの移民の子どもたちが学んでいる Milà i Fontanals 校を訪れたりしたことで、バルセロナの多文化的な側面を理解することができました。特に学校訪問は印象的で、教師たちが教育と多様性の両方に情熱を注いでいる姿や、異なる背景を持つ生徒たちが和やかに交流している様子を見て、とても心温まる思いがしました。私は、多様性を尊重する姿勢はとても素晴らしいものだと思います。そして、バルセロナでの経験を通じて、この価値観が自分自身の重要な一部でもあることを改めて実感しました。

言語に関して、バルセロナではスペイン語とカタルーニャ語はどのように混ざっているかを観察することが興味深く、現地でこの二つの言語を話す経験も非常に新鮮で、言語学習の刺激になりました。ぜひ今後もスペイン語・カタルーニャ語を勉強したいので、バルセロナのサマースクールや大学院を検討します。

②海外での経験

私自身にとって、スペインは日本とはまったく異なる文化を持つ国で、その文化を経験できたのはとても興味深いものでした。スペインの人々は全体的にリラックスしていて開放的であると感じました。それは、店や街中で交わした温かい会話からも伝わってきましたし、同時に、街頭での数多くの抗議活動や公の場で怒りを表現する場面からも感じ取っていました。どちらの文化が「良い」または「悪い」といった比較をするのではなく、私たち学生にとって、こうした大きく異なる文化を体験することが、日本文化を客観的に見つめ直し、自分の基準ではどんなところが好きか嫌いかを考える良い機会になるのではないかと思います。

③プログラム内容

このプログラムは本当に楽しく、特に情熱的で献身的な教授やガイドの方々には心から感謝しています。彼らは私たちに知識を伝えることにとても熱心で、どんな質問にも快く答えてくださったおかげで、バルセロナの歴史や文化、言語について多くのことを学ぶことができました。

ただ、個人的には、現地の学生ともっと交流する機会があればよかったと感じています。スペイン語を実践する場が増えれば、より深く学べたと思いますし、長期的なつながりを築くことで、再びスペインを訪れたいという気持ちにもつながったのではないかと思います。

④進路への影響について

このプログラムを通じて、将来的にスペインでのさらなる学びやキャリアの一時期を過ごすことを真剣に考えるようになりました。私にとって、スペインは興味深い国であるだけでなく、プログラムを通じて出会ったスペインの専門家たちの開放的で情熱的な姿勢が、自分自身に良い影響を与え、成長するための良い環境を作り出してくれるのではないかと感じました。

すでに日本での最初の就職先は決まっていますが、今後、キャリアの中で世界を舞台に働いたり、修士課程を通じて海外で学んだりすることを考えています。その中で、今回の経験がスペインという新たな選択肢を私に与えてくれて、とても感謝しています。